

東北チャレンジコミュニティが目指す変化（ロジックモデル暫定版）

活動 インプット	結果 アウトプット	短期アウトカム(成果)	中期アウトカム(成果)	長期アウトカム(成果)
<p>■①コーディネート実践による地域の持続可能性向上とOJTによるコーディネーター育成 ㊦外部人材が関わる経営革新プロジェクトの構築と運営 ①地域課題解決支援および関係人口創出関連施策の構築と運営</p> <p>■②コーディネーター育成(OFFJT型) ㊦団体間相互メンタリング ①集合研修</p> <p>■③東北の関係人口コミュニティの活性化 ㊦オンラインコミュニティの拡充 ①コミュニティの相互活用による新たな参加者の共同募集</p> <p>■④東北各地のコーディネート機関の連携深化 ㊦連携プログラムの運用・開発 ①自治体・大企業向け営業</p>	<p>■①自社の経営課題を明確している企業の数(募集プロジェクト数)</p> <p>■② ①を解決するプロジェクトの実施(実施プロジェクト数)</p> <p>■③ ①の課題が解決されている数(プロジェクト完遂率)</p> <p>■④ ②への外部人材の参画数(マッチング数)</p> <p>■⑤ ②に従事したコーディネーターの数(事業従事者)</p> <p>■⑥ ①に向けて連携する自治体・大学の数</p> <p>■①に向けてコーディネーター団体間での連携プログラムが開発されている状態</p>	<p>■①自社だけでなく、地域の課題解決に取り組もうとしている企業が増えている状態</p> <p>■② ①を目指す上で、外部人材に関わる必要性があることを理解している企業が増えている状態</p> <p>■③ ②の達成のために、外部人材が関わるプロジェクトが整えられている状態</p> <p>■④ ③の整備を行えるコーディネート団体が増えている状態</p> <p>■⑤ ③の中で環境整備に向けて自治体と連携が協議されている状態</p> <p>■⑤ ①～④を通して、プロジェクトに参画する関係人口が増えている状態</p>	<p>■①東北の課題解決に取り組んでいる企業が増えている状態</p> <p>■② ①を通して、就業したり独立する外部人材が多数いる状態</p> <p>■③ ①に向け環境整備するコーディネーター団体が、企業からの課金などから持続的に活動している状態</p> <p>■④ ③を行いながら、次世代コーディネーターが年数人輩出している状態</p> <p>■⑤ ③のために、自治体と連携し予算が取れている状態</p> <p>■⑥ ①～④を通して更なる地域で東北地方の課題が解決に向けての動きに波及効果が起きている状態</p>	<p>■課題先進地である東北で、地域を超えてコーディネーターの連携により、どんどん課題解決がなされている状態</p> <p>■東北各地で様々な時勢コーディネーターが活動し循環している状態</p> <p>■コーディネートの質・量が向上され、東北各地で経済的・持続的に活動する団体が増えている状態</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>■東北の課題がどんどん解決され、主体的に活動するプレーヤーで溢れ、人材が良い意味で流動・定着する状態を目指す</p>

自分たちが直接コントロールできる部分

社会・環境の変化

※コーディネーターの定義：東北地方や地域企業の課題を発見し、その解決に向けてのプロジェクトを設計できる人材。加えて、その設計したプロジェクトに外部人材をマッチングする一連の流れを把握できている、または、実施しようとしている人材。